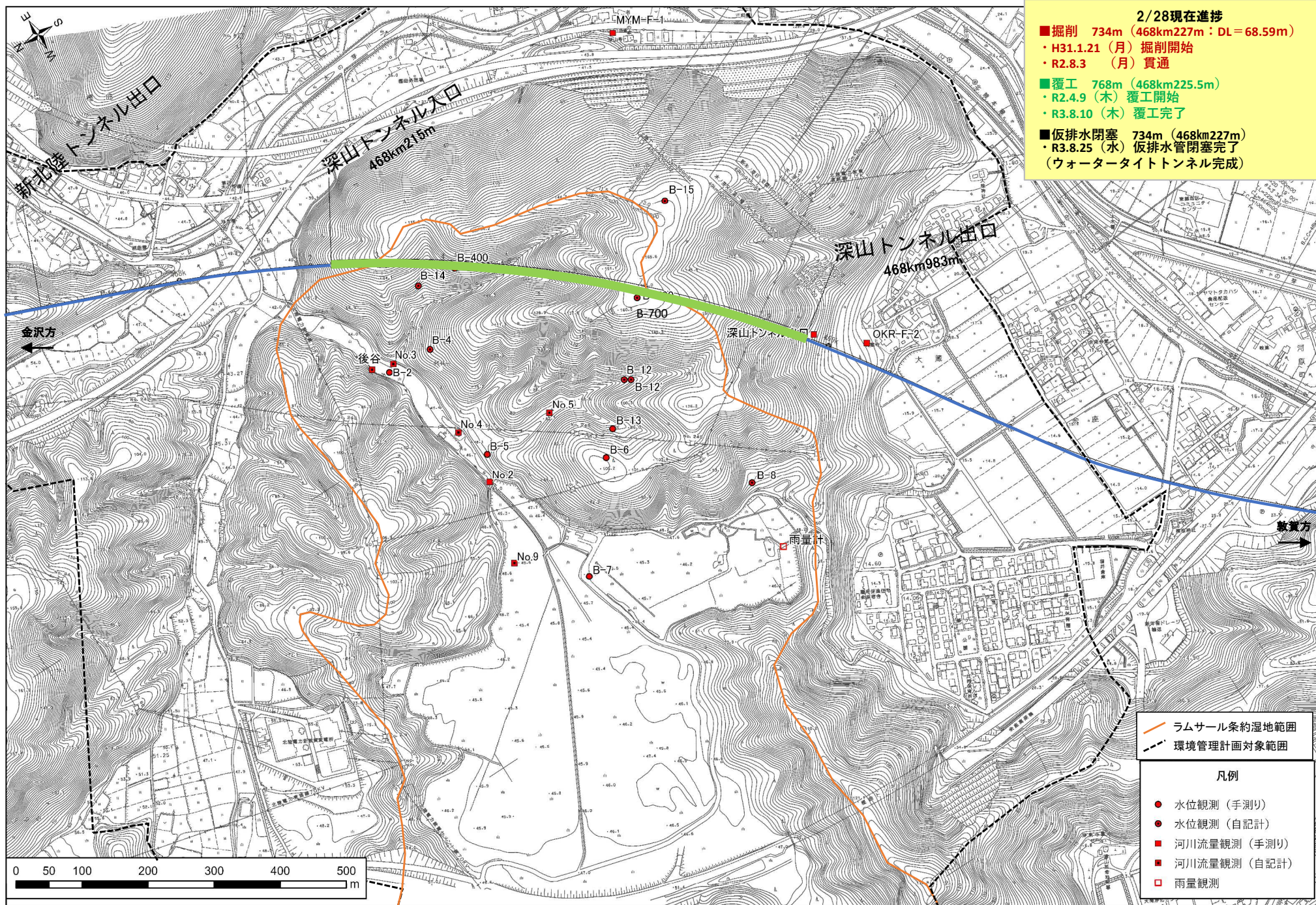


深山トンネル水文調査モニタリング報告書

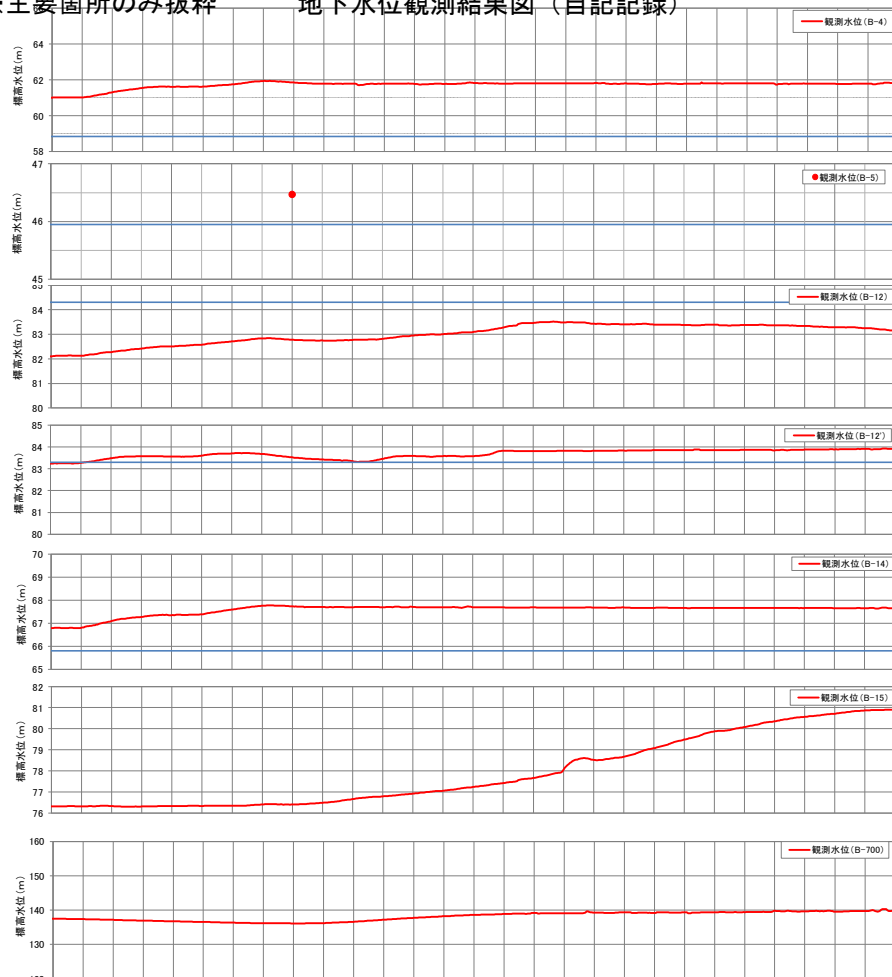
調査期間：令和8年2月1日（日）～令和8年2月28日（土）

「北陸新幹線、中池見湿地付近深山トンネル等工事に係る環境管理計画」に基づき実施している水文環境モニタリング結果について報告する。

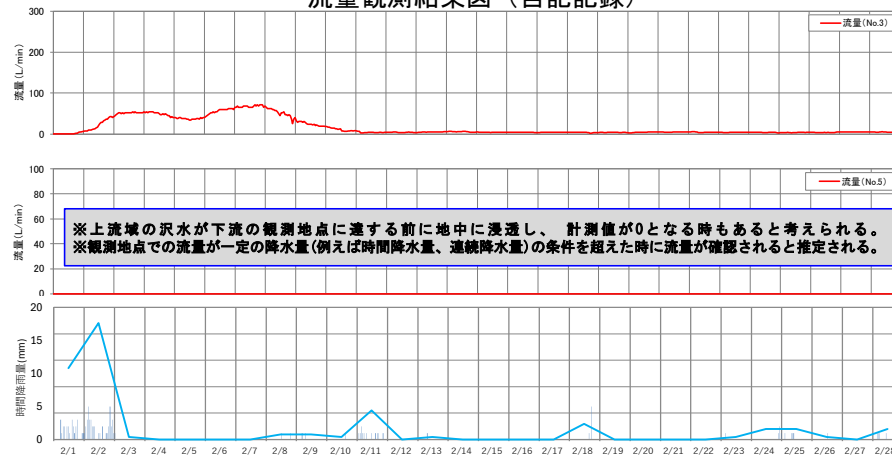


※主要箇所のみ抜粋

地下水位観測結果図 (自記記録)



流量観測結果図 (自記記録)



B-4 地下水位
過年度最低水位
58.8m

B-5 地下水位
過年度最低水位
46.0m

B-12 地下水位
過年度最低水位
84.3m

B-12' 地下水位
過年度最低水位
83.3m

B-14 地下水位
過年度最低水位
65.8m

B-15 地下水位

B-700 地下水位

No. 3 流量

No. 5 流量

全体総括
 ■目立った変動なし □やや変動あり
 □変動あり (注意体制への移行を検討)

期間中の地下水位低下量
 ■1m未満ないし増加: B-2、B-4、B-5、B-7、B-8、B-12、B-12'、B-13、B-14、B-15、B-400、B-700
 □2m未満: □5m未満: ■5m以上: B-6

日降水量
 □15mm未満 ■15mm以上 □50mm以上

月降水量
 □80mm未満 ■80mm以上 □130mm以上 □200mm以上

概要

■水位変動について
 ①目立った変動なし。
 ②B-4 (自記水位計): 2月2~5日、6~7日は気温上昇に伴う融雪および降雨の影響により、水位上昇が認められる。8日以降は横ばい傾向を示す。
 ③B-5 (手計り): 過年度最低水位を上回っている。
 ④B-12 (自記水位計) 2月2~8日、12日~17日は気温上昇に伴う融雪および降雨の影響により、水位の上昇が認められる。2月18日以降は、緩やかな低下傾向を示す。
 ⑤B-12' (自記水位計): 2月2~4日、5~7日、11日~16日は気温上昇に伴う融雪および降雨の影響により、水位の上昇が認められる。16日以降は緩やかな上昇傾向を示す。
 ⑥B-14 (自記水位計): 2月2~4日、6~8日は気温上昇に伴う融雪および降雨の影響により、水位の上昇が認められる。8日以降は横ばい傾向を示す。
 ⑦B-15 (自記水位計): 期間中の水位は上昇傾向を示す。特に、2月18日の降水に対して反応を示し、水位が上昇している。
 ⑧B-700 (自記水位計): 2月1日~10日の水位は低下傾向を示す。10日以降は緩やかな上昇傾向を示す。

■流量変動について
 ①No. 3 (自記): 2月1日~3日、5日~7日は気温上昇に伴う融雪および降雨の影響により、流量の上昇が認められる。11日以降は5L/min以下の状態が続く。
 ②No. 5 (自記): 期間中の流量は0L/minの状態が続く。
 ⇒無降雨・少雨時や大雨の数日後において、当該地点の上流域の沢水は観測地点に達する前に地中に浸透することで、流量の計測値がゼロとなっている状況である。
 ⇒当該地点の上流域で一定の降水量の条件(例えば時間降水量、連続降水量)を満たした時に観測地点で流量が確認されると推定される。

■降水量について
 ①1月の日最大降水量: 1/3の61.0mmである。
 ⇒2月の日最大降水量: 2/2の44.0mmである。
 ②1月の降水量: 408.0mm、2月の降水量: 109.0mmである。
 昨年1月は255.0mm、2月は257.0mmである。
 平年値(敦賀アメダス)は1月は269.5mm、2月は164.7mmである。